

「未来の豊かな“つながり”のための 全国アクション」

～コロナ下における地域福祉・ ボランティア活動の事例を募集しています

新型コロナウイルスの感染拡大により、今、人と人が接触する機会を減らすことが求められ、ボランティア活動や市民活動は制限され、力を発揮しにくい状況にあります。このような状況下にあっても、住民同士の“つながり”を継続するための活動方法や工夫、懸命な取り組みが全国各地で新たに生まれています。

つながることをあきらめず、感染防止策を講じながら活動する方法や工夫を集めて提供する、悩み葛藤しながら活動している仲間たちの交流を図る、こうした取り組みをWEB等を活用して進めることで、全国の活動者や組織・団体の実践を後押ししたいと、このたび11の主唱団体がその傘下の構成団体等とともに、「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」を立ち上げました。

詳細は、ホームページをご覧ください。（<https://www.tunagari-action.jp>）

★事例募集について

「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」のホームページに掲載する事例を以下のとおり募集します。各社協で創意工夫のもと展開されている、“つながり”を維持する活動や、新たな“つながり”を創り出す活動等をぜひご応募ください。

【事例紹介の柱】

- ① タイトル、② 団体名、③ 活動の内容（記載内容例）
 - ・活動を始めたきっかけや思い、活動のねらい
 - ・活動の内容、参加者・対象者、場所（対象エリア）、時期・時間、周知方法、連携している団体
 - ・活動の際、感染防止のためにやっていること、工夫
- ④ 活動の効果（記載内容例）
 - ・やってみて「よかったこと」、「難しかったこと」
 - ・関わった人からの反応
 - ・課題やこれからの予定
 - ・“つながり”的活動をしている（しようとしている）人へのメッセージ

⑤ 活動の様子がわかる写真、活動団体等のリンク先

※ 写真除いて 500～600 字程度

※ 上記項目を網羅しなくても（書ける部分のみで）構いません。

※ 事例のイメージは次頁を参照

【福祉教育の取り組み事例も募集しています】

・コロナ禍において学校や地域においてこれまでの疑似体験学習ではない、プログラムの展開を工夫した内容

・全社協版「あなたのまちでやさしさをひろげるために」の活用事例

・コロナ禍で県・指定都市社協等の福祉教育プラットフォームで検討している内容や検討内容を実践した事例

※1 ページ目の「事例紹介の柱」を参考に原稿作成をお願いします。

【応募方法】

□ 上記「事例紹介の柱」を参考に word データで作成し、活動の様子がわかる写真の画像データとともにメール添付にて提出してください。

▣ 提出先メールアドレス vc00000@shakyo.or.jp

□ メールの件名は「全国アクション事例応募（○○社協）」としてください。

【応募締切】

□ 締切：令和 4 年 2 月 28 日（月）

※ 随時、応募を受け付けますが、ホームページ等への掲載の関係上、締切を設けます。

【留意事項】

□ ホームページには、活動内容や活動地域等を考慮して掲載しますので、応募いただいた事例がすべて掲載されない場合や掲載のタイミングが前後すること等がありますので、あらかじめご容赦ください。

□ ホームページ掲載以外にも本 News File、NORMA 社協情報等で随時、紹介していきます。

